

「戦争と平和！」 第 18 回

「戦争は人間のしわざです」

玉上 佳彦

はじめに

38 年前に日本人に訴えかけた言葉「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。」を知っていますか。恥ずかしながら、私は昨年 11 月まで知りませんでした。これは、1981 年に来日したローマ教皇ヨハネ・パウロ 2 世の広島での平和アピールの一文です。昨年 11 月に来日したフランシスコ教皇は、



広島・長崎の被爆地を訪問し、戦争を否定し、平和を希求し、「原発をやめるべき」と**核廃絶**を強く訴えました。残念ながら、唯一の被爆国である日本は、核兵器禁止条約に反対し、「核保有国や

非保有国を含む国際社会における橋渡し役を果たし、現実的かつ実践的な取組を粘り強く進めていく」という全くわけのわからない主張をしています。

現実の世界は

現実の世界は核兵器の増強を含めた軍拡がますます進んでいます。昨年 2 月にアメリカは中距離核戦力全廃条約 (INF) の破棄をロシアに通告し、失効しました。かつての冷戦 (アメリカ vs ソ連) とは異なる米・中・ロの新冷戦が顕在化し、核の脅威、米中貿易摩擦や AI、サイバー攻撃、宇宙進出などと地球規模を超えた新技術などで、深刻な対立を引き起こしかねない現実が生まれつつあります。

我々が「戦争」という言葉で思い浮かべるのは、かつての「第 2 次世界大戦」ですが、遠い過去の話として、悲惨な場面を忘れていてのではないのでしょうか。「**今の世界は平和**」と誤解して、平和ボケに浸っている日本人は、世界各地の厳しい戦争 (内戦) のことを知らないのではないのでしょうか。

世界の内戦・紛争

世界各地では、隣国や異民族、異宗教などに起因する戦争や内紛が続いています。我々日本人にとっては、遠い世界の話として、認識していない人が多いと思いますが、世界の戦争 (内紛) は中近東やアフリカを中心に多発しています。

今でも、戦争・内戦・紛争が続いている国・地域としては、以下のようなものが挙げられます。

イスラエルーパレスチナ、シリア、アフガニスタン、ト

ルコークルド、ソマリア、ナイジェリア、ダルフル (スーダン)、イエメンーサウジ、リビア、カシミール。ミャンマー (ロヒンギヤ)、新疆ウイグル自治区など。

これをけしにかけているテロ組織として、イスラム国、アル・カイダ、ボコ・ハラム、ヒズボラ、タリバンなどが暗躍している世界があります。

世界中の内戦・紛争の原因は、宗教対立、領土紛争など様々な原因があるようですが、これらの国々の内戦・紛争をけしかけられるべく、各組織に積極的に武器・弾薬を販売・供与している大国 (=武器商人) の存在を見逃すことができません。

アフガニスタンの中村哲医師



私と同年齢の中村哲医師 (73 才) がアフガニスタンで銃撃されて死亡するという悲劇が起きました。米ロの大国に振り回されてきたアフガニスタンで、平和を希求する人々に全身全霊で

尽くしてきた中村医師に心から敬意を払いたいと思います。どの組織による襲撃かわかりませんが、現地の人々のために貢献している日本人の地道な活動を阻害するテロ組織が存在していることは見逃すわけにはいきません。

日本は平和か？

我々日本人には理解できない一神教世界の宗教間対立、地域紛争による憎み合いは国内では考えにくいことです。島国であるという地政学的なメリットのもとで、一見安定しているように見える国内の政治情勢は、長期的政権による綻び、歪みが出て、不都合な暴走を止められなくなっている今の日本は、決して**平和**とは言えないと思います。経済力の低下、技術力の低迷、人口減少、教育レベルの低下、後ろ向きの地球温暖化対策、原発問題など深刻な状況があるにも関わらず、将来を示せない政権に、平和を語り、希求することは難しいと言わざるを得ません。

(写真はインターネットから入手)